

平成30年度愛媛県原子力防災訓練 実施結果概要

1 訓練の目的

伊方発電所で事故が発生した場合に備え、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

2 実施日時

平成30年10月12日（金） 8：30～15：00

3 実施場所

愛媛県庁ほか、発電所を中心とした概ね半径30km以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

※平成30年7月豪雨災害の影響を考慮のうえ実施

4 訓練項目

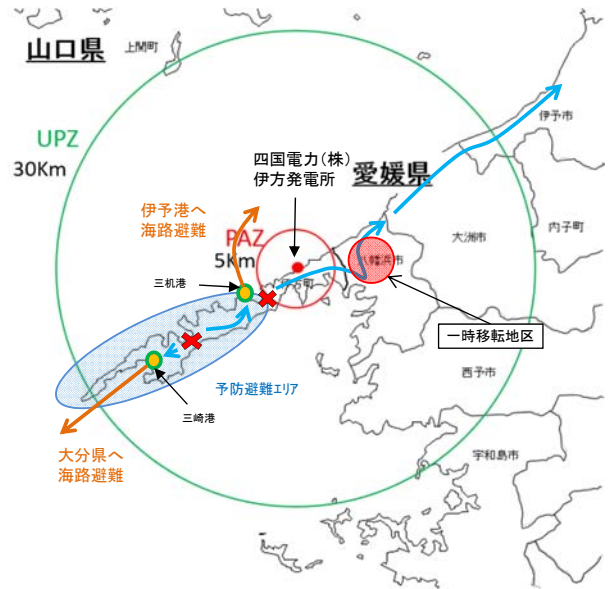
- (1) 緊急時通信連絡訓練 (2) 緊急時モニタリング訓練
 - (3) 災害広報訓練 (4) 災害対策本部訓練
 - (5) 原子力災害医療活動訓練
 - (6) 自衛隊等災害派遣要請訓練
 - (7) 住民避難・誘導訓練 (8) 要配慮者避難訓練
 - (9) 交通規制訓練 (10) 発電所内緊急時対応訓練
- ※ドローンと有人ヘリとの衝突回避実証実験もJAXAと共同実施

5 計画からの変更点

離島（八幡浜市大島）からの海路避難訓練は、波浪の状況を考慮し中止。

6 実施機関及び参加人数

77機関	7,179人	（内訳）	広域避難参加者	172人
			屋内退避参加者	6,065人
			関係機関参加者	942人



※PAZ（予防的防護措置を準備する区域）
（Precautionary Action Zone）
※UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）
（Urgent Protective Action Planning Zone）
※予防避難エリア
（PAZ圏に準じた避難等の防護措置を準備する区域）

重点項目

- 住民避難における情報収集発信体制の充実
 - ・複数のドローンによる避難経路等の被災状況の情報収集(映像伝送)
 - ・伊方町全域を対象とした臨時災害放送局(FM放送)による情報発信
- 大分県との情報共有の充実と避難の多様化
 - ・TV会議による大分県、国等との情報共有
 - ・新着岸港を経由した避難(佐伯市)及び内陸部への避難(由布市)
- 孤立地域における住民避難体制の充実
 - ・道路寸断を想定した海路及び空路による避難

